

第2章 阪急嵐山・松尾大社地区道路特定事業計画

2. 1 具体的なバリアフリー化対策案及び整備方法

道路のバリアフリー化の道路特定事業計画の作成にあたっては、各項目の代表的な整備手法に基づいて行うものであります。具体的なバリアフリー化対策案は、以下の表2. 1に示します。

表2. 1 対策案（A～F）及び整備方法の概要

対象項目	対策案・整備方法	
A：横断歩道接続部等における段差・勾配の改良	A-1	<ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道と接続する部分に平坦部を確保 ・すりつけのための縦断勾配を5%（8%）以下にする ・歩道と車道の段差が1cmとなる縁石を設置
	A-2	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の民有地側に平坦部を確保 ・車道へのすりつけ勾配を小さくするために、歩道と車道の境界には、表面に勾配のある特殊縁石を設置
B：歩道一般部及び車両乗入部における段差・勾配の改良	B-1 (歩道全般)	<ul style="list-style-type: none"> ・横断勾配が急な箇所を1%（2%）以下にする
	B-2 (歩道全般)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道内にある段差を平坦にする ・歩道部の凸凹（舗装不陸、水路の蓋かけ部等）を平坦にする
	B-3 (車両乗入部)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の車両乗入れ部分の民有地側に平坦部を1.0m以上確保（すりつけ横断勾配は15%以下）
C：視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良	C	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良（JIS規格化や配置変更など）
D：歩道の有効幅員確保	D-1	<ul style="list-style-type: none"> ・安全走行ができる車道幅員を考慮した上で、歩道の有効幅員（2.0m・3.5m）を確保する
	D-2	<ul style="list-style-type: none"> ・支障物（電柱、標識柱等）の撤去及び移設の検討
E：歩道のない道路における歩行空間の明確化	E	<ul style="list-style-type: none"> ・路面標示（路側帯）の設置及び幅員変更 ・路側帯へのカラー舗装等の施工
F：歩行者の移動に影響を与えていたる道路付属物の改良	F	<ul style="list-style-type: none"> ・ガタついた側溝蓋の改良及び暗渠化 ・粗目のグレーチングを細目のグレーチング等へ改良 ・老朽化した縁石の改良

基本構想策定時に実施された委員等による現地調査、本市における調査内容を基にして、道路のバリアフリー化の整備基準（移動等円滑化整備ガイドライン）を満たしていない箇所における対策案を検討します。

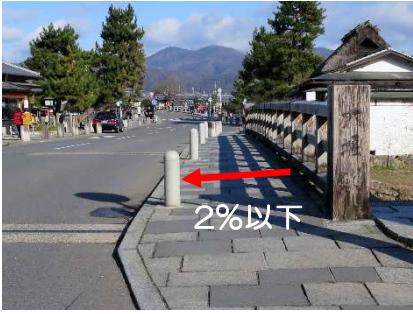
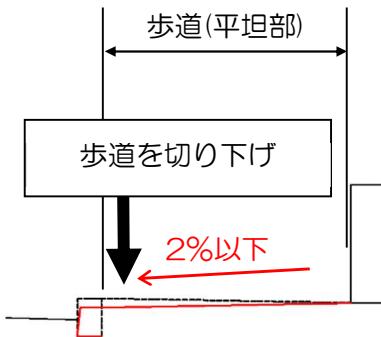
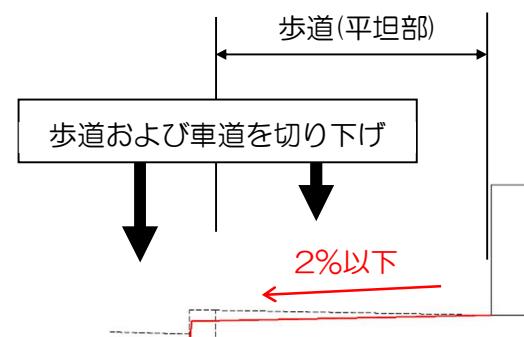
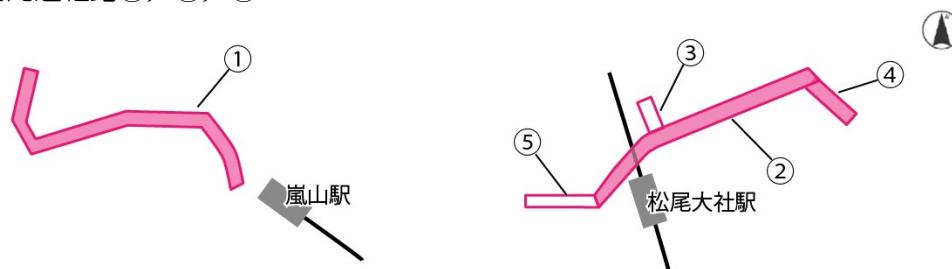
A：横断歩道接続部等における段差・勾配の改良

対策案	A-1
整備方法	<ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道と接続する部分に平坦部^{※1}を確保 ・すりつけのための縦断勾配を5%（8%）^{※2}以下にする ・歩道と車道の段差が1cmとなる縁石を設置 <p>※1 透水性舗装の場合は横断勾配1%，非透水性舗装の場合は横断勾配2%。</p> <p>※2 () 内は、地形の状況その他特別な理由によりやむを得ない場合の特例値</p>
イメージ	<p>注) 平たん部分については巻込始点(A)からすりつけ区間との間に1.5m程度設けることが望ましい。 このように設けられない場合でも、最低巻込始点(B)から1.5m程度設ける。</p> <p>注) 本対策を行う際、民有地との境界 条件を考慮する必要がある</p>
標準的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> 交差点縦断方向（A-A'）断面概念図
対象経路	<p>生活関連経路①, ②</p>

A：横断歩道接続部等における段差・勾配の改良

対策案	A-2 ^{*1}
整備方法	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の民有地側に平坦部^{*1}を確保 車道へのすりつけ勾配を小さくするために、歩道と車道の境界には、表面に勾配のある特殊縁石を設置 <p>*1 A-1 を適用することが困難（現況の段差・勾配が大きいうえ、民有地・車道の改良が困難）な場合には、A-2 を適用</p>
イメージ	
標準的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> 交差点縦断方向 (A-A') 断面概念図
対象経路	<p>生活関連経路②</p>

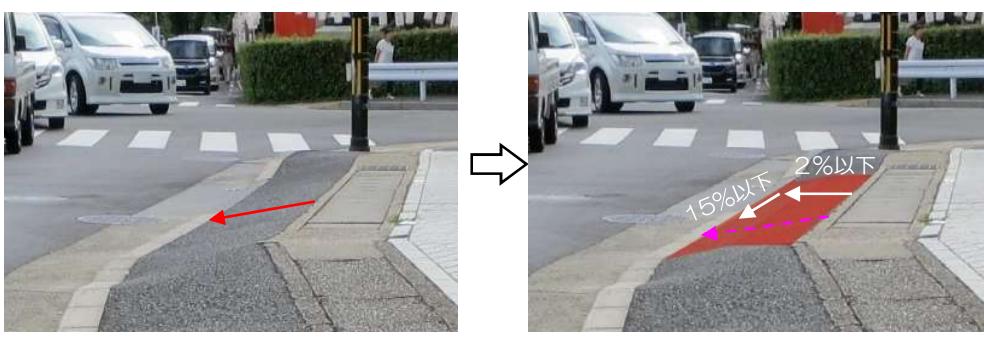
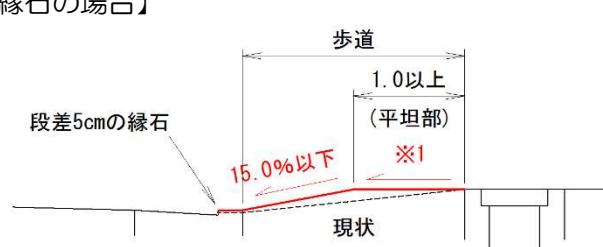
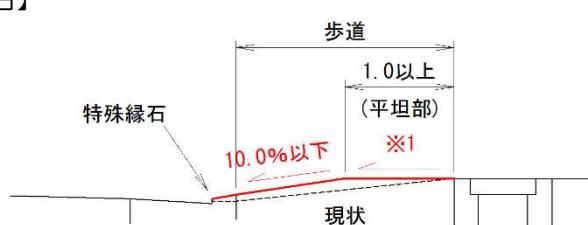
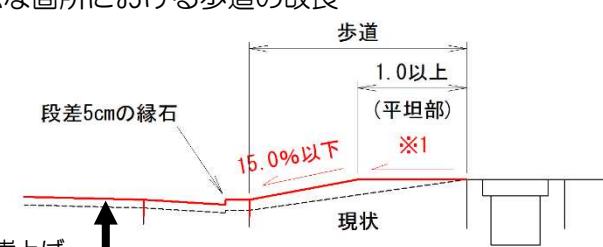
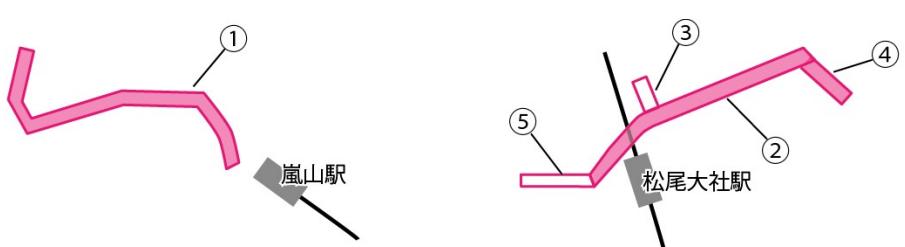
B：歩道一般部及び車両乗入部における段差・勾配の改良

対策案	B-1 (歩道全般)
整備方法	<ul style="list-style-type: none"> 横断勾配が急な箇所を 1% (2%) 以下にする
イメージ	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> 民有地高さは 現状を変えない </div>  <div style="margin-left: 20px;"> 現 状 </div> </div>
標準的な考え方	<p>• 横断勾配が急な箇所における歩道の改良 【歩道の切り下げ】</p>  <p>【歩道及び車道の切り下げ】(民有地と車道の高低差が大きい場合)</p> 
対象経路	<p>生活関連経路①, ②, ④</p> 

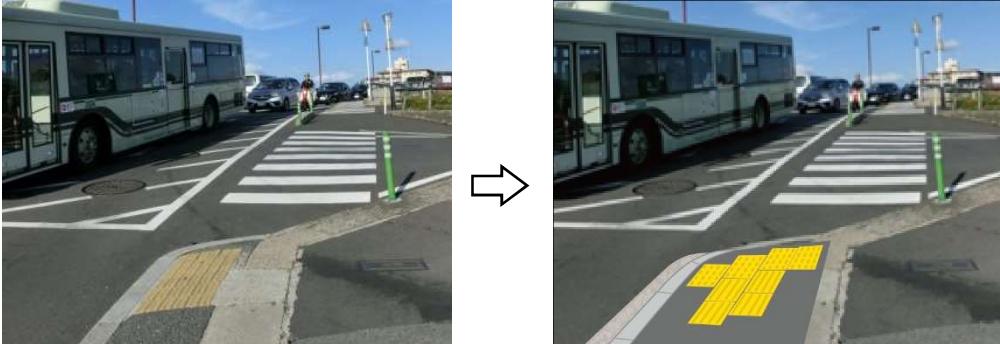
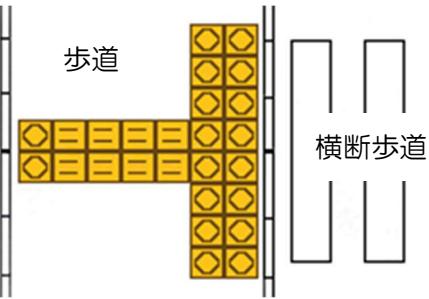
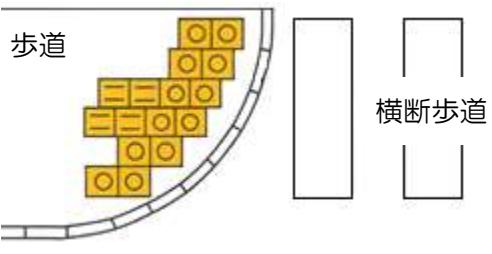
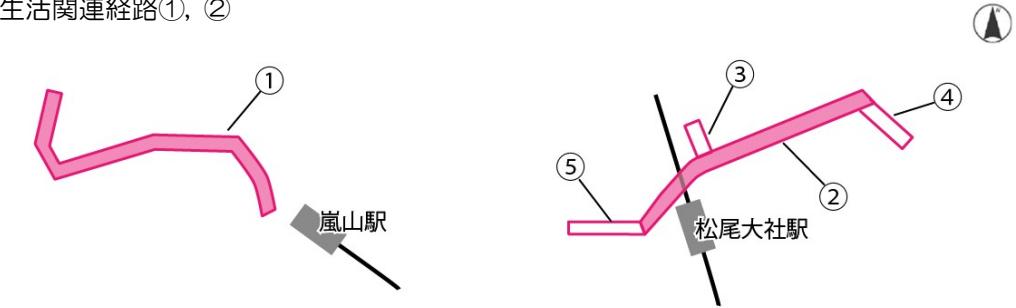
B：歩道一般部及び車両乗入部における段差・勾配の改良

対策案	B-2 (歩道全般)
整備方法	<ul style="list-style-type: none"> 歩道内にある段差を平坦にする 歩道部の凸凹（舗装不陸、水路の蓋かけ部等）を平坦にする
イメージ	<p style="text-align: center;">現 状</p>
標準的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> 段差・不陸の解消
対象経路	<p>生活関連経路①, ②, ④</p>

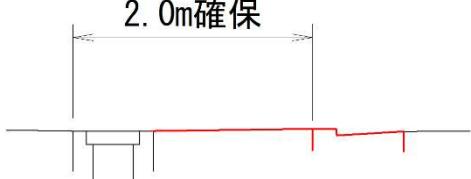
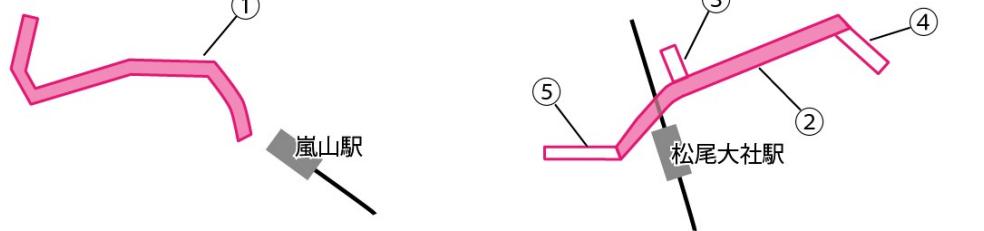
B：歩道一般部及び車両乗入部における段差・勾配の改良

対策案	B-3（車両乗入部）
整備方法	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の車両乗入れ部分の民有地側に平坦部を 1.0m 以上確保（すりつけ横断勾配は 15%以下）
イメージ	 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 現 状 改良イメージ </div>
標準的な考え方	<p>【段差 5cm の縁石の場合】</p>  <p>【特殊縁石の場合】</p>  <p>※2 透水性舗装の場合 1%、非透水性舗装の場合 2%</p> <ul style="list-style-type: none"> 横断勾配が急な箇所における歩道の改良 
対象経路	<p>生活関連経路①、②、④</p> 

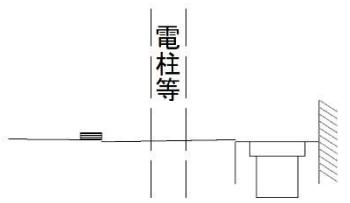
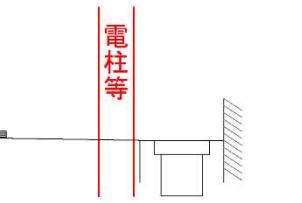
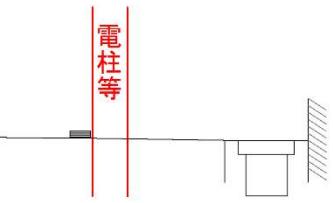
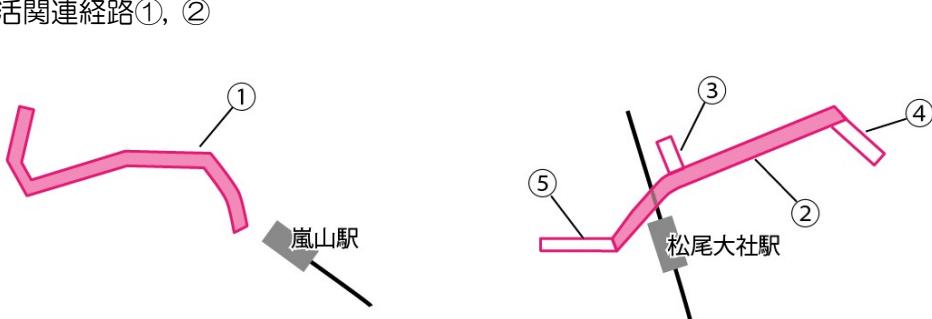
C：視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良

対策案	C	
整備方法	・視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良（JIS 規格化や配置変更など）	
イメージ	• 視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>現 状</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>改良イメージ</p> </div> </div>	
標準的な考え方	 <p>【横断歩道口誘導ブロックの設置例】</p>  <p>【歩道巻き込み部誘導ブロックの設置例】</p> <p>注) 横断歩道の有無に関わらず歩道巻き込み部には視覚障害者誘導用ブロックを設置。</p>	
対象経路	生活関連経路①, ② 	

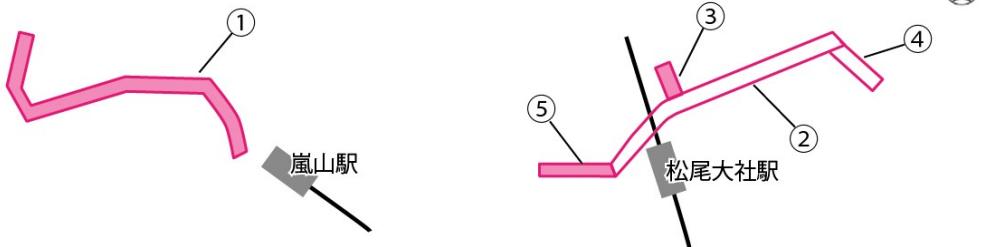
D：歩道の有効幅員確保

対策案	D-1
整備方法	<ul style="list-style-type: none"> 安全走行ができる車道幅員を考慮した上で、歩道の有効幅員（2.0m・3.5m^{※1}）を確保する <p>※1 幅員 3.5mは歩行者交通量 1000 人/日以上の場合。ただし、地形上やむを得ない場合を除く</p>
イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の有効幅員の拡幅 <div style="display: flex; align-items: center;">  →  <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> 現 状 改良イメージ </div> </div>
標準的な考え方	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>2.0m未満</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2.0m確保</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> 【現 状】 【改良後】 </div>
対象経路	<p>生活関連経路①, ②</p>  <p>嵐山駅</p> <p>松尾大社駅</p> <p>① ② ③ ④ ⑤</p>

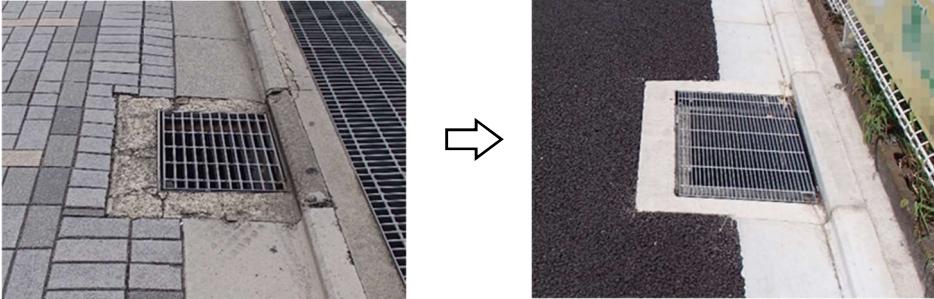
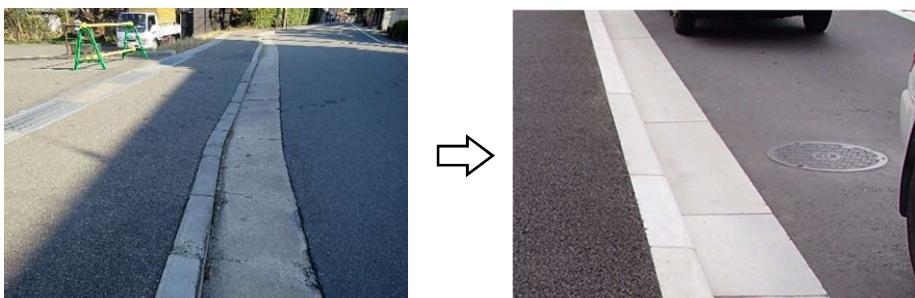
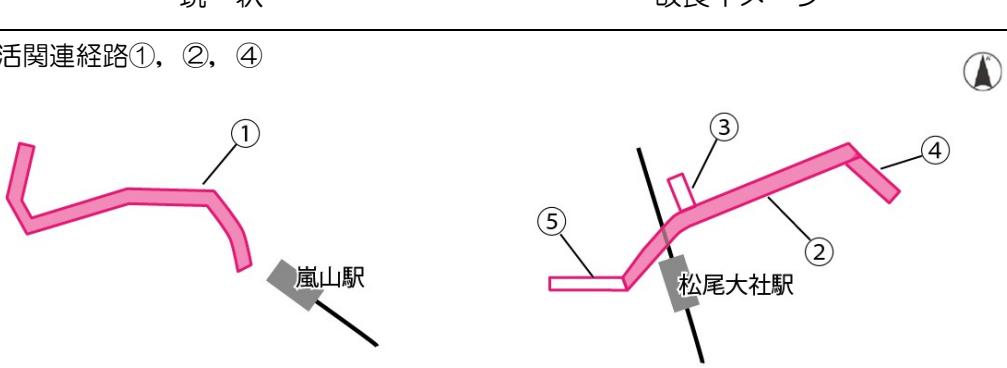
D：歩道の有効幅員確保

対策案	D-2
整備方法	・支障物（電柱、街灯等）の撤去及び移設の検討
イメージ	 <p>現 状</p> 
	  <p>改良イメージ</p>
対象経路	<p>生活関連経路①, ②</p> 

E：歩道のない道路における歩行空間の明確化

対策案	E	
整備方法	<ul style="list-style-type: none"> 路面標示（路側帯）の設置及び幅員変更 路側帯にカラー舗装等を施し、歩行空間の明確化を図る 	
イメージ		
対象経路	<p>生活関連経路①, ③, ⑤</p> 	

F：歩行者の移動に影響を与えていたる道路付属物の改良

対策案	F
整備方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ガタついた側溝蓋の改良及び暗渠化 ・粗目のグレーチングを細目のグレーチング等へ改良 ・老朽化した縁石の改良
イメージ	<p>側溝蓋改良</p>  <p>細目グレーチングへ改良</p>  <p>縁石改良</p>  <p>現 状</p> <p>改良イメージ</p>
対象経路	<p>生活関連経路①, ②, ④</p> 

2. 2 路線別の事業計画

(1) 生活関連経路の総括表

経路番号	路 線 名	対策案	経路・区間	経路延長(km)	実 施 予 定 期 間
					H30 31 32 33～
①	主要府道 宇多野嵐山山田線 一般市道 松尾嵐山経66号線 一般市道 松尾嵐山経81号線	A, B, C D, E, F	嵐山公園（中之島地区） ～阪急嵐山駅	0.50	
②	主要府道 宇多野嵐山山田線 一般府道 嵐山西院線（四条通）	A, B, C D, F	松尾大社交差点 ～生活関連経路④	0.33	
③	一般市道 松尾嵐山経66号線	E	嵐山東公園 ～生活関連経路②	0.03	
④	一般市道 梅津緯54-1号線	B, F	生活関連経路② ～内田病院	0.06	
⑤	一般市道 松尾神社前通	E	松尾大社交差点 ～松尾大社	0.15	

(2) 対象路線位置図

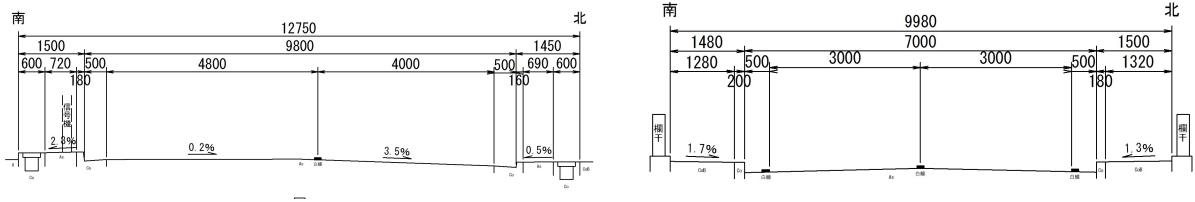
阪急嵐山・松尾大社地区道路特定事業計画の対象路線の位置を示します。



(3) 路線別事業計画

各路線の概要（路線名、事業区間、延長）、平面図、横断面図、事業内容、事業量、事業実施に際し配慮すべき重要事項及び現況写真を示します。

経路番号／延長 路 線 名	生活関連経路① / 0.50 km 主要府道 宇多野嵐山山田線、一般市道 松尾嵐山経66号線、 松尾嵐山経81号線
事 業 区 間 所 在 地	嵐山公園（中之島地区）～阪急嵐山駅 右京区嵯峨中ノ島町～西京区嵐山西一川町
平 面 図	主要府道 宇多野嵐山山田線、一般市道 松尾嵐山経66号線 松尾嵐山経83号線
現 態 断 面 図	<p>A-A'</p> <p>B-B'</p>
事 業 内 容（対策案）	事業量 (延長／箇所数)
A : 横断歩道接続部等における段差・勾配の改良 B : 歩道一般部及び車両乗入部における段差・勾配の改良 C : 視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良 D : 歩道の拡幅、支障物の撤去及び移設の検討 E : 歩行空間の明確化 F : 树蓋及びグレーチングの改良、縁石の改修	0.50 km
事業実施に際し配慮すべき重要事項	<ul style="list-style-type: none"> 段差・勾配の改良は、地域住民と調整を行いながら改善を進める。 歩道の拡幅、歩行空間の明確化に当たっては、公安委員会と路面標示や幅員構成について協議を行うとともに、地域住民との合意形成を図る。 路側帯の一部が広くなる箇所については、駐車対策の検討を行う。
現 態 写 真	<p>A-A'</p> <p>B-B'</p>

経路番号／延長 路 線 名 事 業 区 間 所 在 地	生活関連経路② / 0.33 km 主要府道 宇多野嵐山山田線, 一般府道 嵐山西院線（四条通） 松尾大社交差点 ~ 生活関連経路④ 西京区嵐山宮ノ前町 ~ 右京区梅津大縄場町
平 面 図	主要府道宇多野嵐山山田線, 一般府道 嵐山西院線（四条通）
現 情 断 面 図	A-A' B-B'
	
事 業 内 容 (対策案)	事 業 量 (延長／箇所数)
A : 横断歩道接続部等における段差・勾配の改良 B : 歩道一般部及び車両乗入部における段差・勾配の改良 C : 視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良 D : 歩道の拡幅、支障物の撤去及び移設の検討 F : 植生及びグレーティングの改良、縁石の改修	0.33 km
事業実施に際し配慮すべき重要事項	<ul style="list-style-type: none"> 段差・勾配の改良は、地域住民と調整を行いながら改善を進める。 歩道の拡幅、歩行空間の明確化に当たっては、公安委員会と路面標示や幅員構成について協議を行うとともに、地域住民との合意形成を図る。 歩道有効幅員が確保出来ない箇所における電柱の移設を検討する。
現 情 写 真	A-A' B-B'
	

経路番号／延長 路 線 名 事 業 区 間 所 在 地	生活関連経路③／0.03 km 一般市道 松尾嵐山経66号線 嵐山東公園～生活関連経路② 西京区嵐山朝月町
平面図	<p>一般市道 松尾嵐山経66号</p>
現況断面図	<p>A-A'</p>
事業内容(対策案)	事業量 (延長／箇所数)
E：歩行空間の明確化	0.03km
事業実施に際し配慮すべき重要事項	<ul style="list-style-type: none"> 歩行空間の明確化に当たっては、公安委員会と路面標示や幅員構成について協議を行うとともに、地域住民との合意形成を図る。 路側帯の一部が広くなる箇所については、駐車対策の検討を行う。
現況写真	<p>A-A'</p>

経路番号／延長 路 線 名 事 業 区 間 所 在 地	生活関連経路④ / 0.06 km 一般市道 梅津緯54-1号線 生活関連経路② ~ 内田病院 右京区大繩場町 ~ 右京区梅津尻溝町
平 面 図	<p style="text-align: center;">一般市道 梅津緯54-1号線</p>
現 態 断 面 図	<p style="text-align: center;">A-A'</p>
事 業 内 容 (対策案)	事 業 量 (延長／箇所数)
B : 歩道一般部及び車両乗入部における段差・勾配の改良 D : 支障物の撤去及び移設の検討 F : 植叢及びグレーチングの改良, 縁石の改修	0.06 km
事業実施に際し配慮すべき重要事項	<ul style="list-style-type: none"> 段差・勾配の改良は、地域住民と調整を行いながら改善を進める。
現 態 写 真	<p style="text-align: center;">A-A'</p>

経路番号／延長 路 線 名 事 業 区 間 所 在 地	生活関連経路⑤／0.15 km 一般市道 松尾神社前通 松尾大社交差点～松尾大社 西京区嵐山宮ノ前町～西京区嵐山宮町															
平 面 図																
現 態 断 面 図	<p>A-A'</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>南東</th> <th>6480</th> <th>北西</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>120</td> <td>5940</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td>↓</td> <td>↓</td> </tr> <tr> <td>2.3%</td> <td></td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>As</td> <td></td> <td>白線 Co</td> </tr> </tbody> </table>	南東	6480	北西	120	5940	270	↓	↓	↓	2.3%		2.4%	As		白線 Co
南東	6480	北西														
120	5940	270														
↓	↓	↓														
2.3%		2.4%														
As		白線 Co														
事 業 内 容 (対策案)	事 業 量 (延長／箇所数)															
E：歩行空間の明確化	0.15 km															
事業実施に際し配慮すべき重要事項	<ul style="list-style-type: none"> 歩行空間の明確化に当たっては、公安委員会と路面標示や幅員構成について協議するとともに、地域住民との合意形成を図る。 															
現 態 写 真	<p>A-A'</p>															

(4) バリアフリー生活関連経路における事業の内容

阪急嵐山・松尾大社地区における道路特定事業のまとめを図で示します。

